

なのはな

NPO法人 なのはな

◇あおぞらキンダーガーデン

◇まほろば

◇わとと・あおぞら

〒420-0961 静岡市葵区北226-1

TEL/FAX 054-246-2213

E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp

npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp

URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

子どもは、大人の教師

衣替えをしようと思っても夏を思わせる暑さに、中々、衣替えが出来ない11月。
でも空を見上げると高くなった秋の空。本格的な秋になるのも、もう少しかな・・・。

先日、中学2年になったまほろばに通っていた子どもが「会いたい」と尋ねて来ました。
友達と上手くいかないことに悩み、学校に行く事がきつくなっているとのこと（おうちの人から）
その頃を思い出すのは、難しいくらい大きくなった彼は「なつかしい。覚えていない。でもここにいると、
あのころの自分を思い出せる」と言って、部屋を何回も周っていました。

その後、2時間ほど彼と話しをしたのですが「小学校5年までは、真っ白。でも6年は、楽しかった。先生も友達もよかった。親友もその時の子」そして「6年の先生を尊敬している。先生みたい大人になりたい。20歳になったら一緒に飲みたい。」といい「その先生は、いつも子どもの事とクラスの事をかंगाえているんだよ。ストレスだってあると思うけどいつも子どもと子ども達の事を考えているんだよ」と話してくれました。

月に3回3年間通ってきただけなのに「会いたい」と尋ねてくれた事に、改めて乳幼児教育の大事さと大人の責任を考える出来事でした。

毎日の何げない出来事や言葉が、子どもの価値観や生きる力となる事を全ての大人が、知ったら子どもは、もっと生きやすくなるのになーと思った一時でした。

彼の直接的な悩みには「全ての人を好きにならなくたっていいんだよ」の言葉に「そうかー。そうだよ。僕が楽しいことを考えれば。何か月曜日から軽くなって行ける」と笑顔になりましたが、彼より私の方が「ありがとう。会いに来てくれて嬉しかった」と何日も幸せな気持ちになりました。

子どもは、大人の教師なんだと改めて高い秋の空を見上げて思うこの頃。

(おか)

あおぞらだより

先日、常葉大学の学生さんが11名、「保育・教職実践実習」であおぞらに訪れました。

将来、保育士を目指す学生さんたちで、他園でも教育実習を終え、いくつかの園を回った経験を持った方たちでした。そんな学生さんたちが感想を寄せてくれた中で、他園との比較の中で違いを感じたという感想が多く見られました。

その一部を紹介させていただきます。

「お散歩では背の順に男の子女の子1列ずつ並んで手をつないで歩くよく見かける散歩とは違い、バラバラした感じで、でもまとまっているようなさんぽの仕方でした。そこには家庭の様な雰囲気があり、その中で生活を送るにおいてはいけないことの常識を身につけていっているようでした。他園とは違い、この園は本当に子ども主体の保育を行なっているなと思いました。」

「実習に行った園と違った園を見ることが出来てよかったです。他の園を見ることによって、いろんな保育の仕方がみられたことで、自分がどんな保育をしたいのか、どんな保育者になりたいのかを考えることもできました。一番大切なのは子どもの事を1番に考える事だと学びました。」

私たちも実習生を迎えることで、当たり前だと思っていたことの大切さを改めて感じさせてもらっています。

学生さんたちが多くの事を学び感じて下さった「子ども主体」「子どもの事を一番に」のあおぞらの保育をこれからも大切にしていきたいと思っています。

また、今月中学生が職場体験に訪れます。どんな刺激をもらえるか、こちらも楽しみにしています。

(ゆうこ)

まほろばの部屋から

私の母に私が子どもと接している姿を見てとても驚かれたことがありました。

それは、私が子どもに

「どうする?」「どっちにする?」と聞いていたことに対してでした。

私は驚かれたことに驚いたのですが・・・。

「どんなに小さくても思いはあって、だからきいてる。」

私はそんなつもりでした。

指差しするようになったらもちろん聞けますし、

その前からも、「子どもに聞く」という大人側の姿勢が必要なのと思っています。

自分の子ども。だけど別の人格。

だから思いがあれば聞くし、それを尊重する。

そう思いつつも、4歳の今は、「思っても出来ない事」言い続けている日々です。

(あきこ)

わとと・あおぞら

新しい出会いいっぱい

"最近のわととっておだやかですね～"

と1才3ヶ月の利用者ママから声を掛けられました。

そういえば、秋晴れの続いた先月は、はいはい、立ち、親子の利用が増え

フロアはゆったりした時間が流れていきました。

初めての方や、"3年ぶり妹がうまれました。"の嬉しい再会も。

このような中開催した、「0歳児のママ集まれ」や「身体測定」には多くの参加があり

臨床発達心理士や看護師スタッフを囲み、夜泣き、卒乳、おすわりの仕方等

毎日の子育ての中、"ちょっと聞きたいな"の質問がたくさんありました。

またママ同士でつながり、お互いのこども、子育てのことを話し合う姿も。

誰かにはなし、聞いてもらうことでほっとすることがあります。

同じことでも、見方を変えてみると前向きに考えられることもあります。

「ちょっと聞いてみようかな!」気軽におしゃべり、相談できる場所であり続けたいな。

ママたちの晴れ晴れとした"また来ますね"の声を聞き、思いました。

<かよ>

友達と見る絵本

むしたちのうんどうかい / 童心社 得田之久 文・久住卓也 絵

いろいろな虫が勢揃いして 運動会をはじめます。
はしりっこきょうそう とびっこきょうそう そして玉入れ お昼の時間
踊り つなひき・・・ どの競技も楽しそう。
「よーい ” ブーッ! “」ミイデラゴミムシのおならがスタートの合図。
子どもたちも大笑い。 真似っこして遊ぶよ。
それぞれの虫の特徴を生かし おもしろ・おかしい うんどうかい。
一緒に楽しめます。

(イナバ)

育ててよし、ふじのくに民間チャレンジ応援事業

子育て中のお母さんのための

無料電話相談

0800-777-7087
平日9時~14時(祝祭日除く)

2011年度NPO法人なのはな 発達支援講演会

療育・保育の難しさを感じたときに考えたい発達の視点

12月3日(土)

14:00~16:00

(13:30受付)

木下 孝司 先生

(神戸大学大学院 人間発達環境学研究科教授)

◆会場：グランシップ10F 1001-1 (100名)

◆参加費：一般 1000円 学生 500円